

# 教科【数学】・種目【数学】

書名 項目	<h2 style="font-size: 2em;">新しい数学</h2>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">           2 東 書         </div>
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○導入→展開→問の流れで統一されている。前回まであった「たしかめ」をなくし、紙面に余裕を持たせ、重要な事柄がわかりやすいように構成されている。</li> <li>○巻末に補充の問題が章ごとにまとめられており、問題演習の内容が整っている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○導入課題は「考えてみよう」や「調べてみよう」といった呼びかけになっており、知識や技能の単純な指導ではなく、生徒が考えることから始められるように工夫されている。</li> <li>○章のはじめの問題場面では、「校庭のトラックでコースを作るときに、コースを何m前に出せばよいでしょう」等、生徒にとって関心が持て、日常生活に役に立つ課題で構成されている。</li> <li>○章末問題には、必ず活用の問題が含まれている。</li> <li>○「数学マイノート」で、ノート指導のポイントがわかりやすくなっている。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各章のタイトルが学習単元名ではなく、生徒の興味・関心を引き出す言葉になっている。例えば、「正負の数」ではなく「数の世界をひろげよう」、「文字と式」ではなく、「数学のことばを身につけよう」であり、生徒に学んでほしい内容を表した表現となっている。</li> <li>○「発展」のマークがある問題は、3年生で学習する範囲をこえた内容を扱い、高校数学へのつながりがわかる記述になっている。</li> <li>○表紙裏に「数学をもっと深めよう」があり、生徒が数学の学習に関心を持ち、取り組める工夫がしてある。</li> <li>○新しい学習内容である箱ひげ図などの学習の際には、教科書の一部の体裁に工夫をし、ページが引き出せるようにしてある。用紙を引き出すことで一度にたくさんのページを一望できる。</li> </ul> <p><b>&lt;数学的活動を充実させるための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教科書の使い方について、「問題をつかむ」「見通しをたてる」「ノートの使い方」のページを設け、生徒がわかりやすく取り組めるように記述している。</li> <li>○章の導入課題が生徒にも身近に感じるものが多く、取り組みやすい。</li> <li>○数学の読み物ページが充実している。生徒にとって取り組んだり、発展的に考えたりすることができる内容となっている。</li> </ul>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○イラストや図が多く、写真は少ないが、色合いが優しく落ち着いた紙面になっている。</li> <li>○小中高の系統性を意識したつくりになっており、既習事項や発展内容の記事が各ページの右側に多く示されている。</li> </ul>	
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ユニバーサルデザインをとっても意識した紙面で、優しい色遣いで紙面からも落ち着いて学習できるよう配慮がなされている。</li> <li>○できるだけ簡潔に重要な内容は欠かすことなくまとめられ、余裕をもった紙面になっている。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的・対話的で深い学びを実践することを強く意識したつくりで、考えるきっかけや自ら学ぶ姿勢が育まれるように工夫されている。</li> <li>○日常の数学的な事情を取り上げ、活用の場を多く設定して、思考力や表現力が身につくように構成されている。</li> <li>○各章の最後に「活用の問題」のページがあり、見方や考え方を生かして問題解決に取り組める。</li> <li>○学習の流れを意識した構成になっており、生徒の主体的、かつ自主的な学習に生かせるとともに、新任教員などが初めてこの教科書を使用する場合にも使いやすくなるような学習の流れができています。</li> </ul>	

## 教科【数学】・種目【数学】

書名 項目	<h1>数学の世界</h1>	4 大日本
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○練習問題には、「プラスワン」と示された問題があり、時間に余裕がある生徒がもう一問追加して、問題演習に取り組めるようになっている。学力差に応じた内容となっている。</li> <li>○「たしかめよう」の問題量が多く、節で学んだことが身に付いているか確かめることができる。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「めあて」で学ぶ内容の明示を、「章をふりかえろう」で、定着を図れるよう工夫されている。</li> <li>○教科書の使い方などの記述で、生徒が数学的に考える手立てが記載されている。「ノートの手作り」の例が生徒の文字で示され、思考を整理し、表現しやすいように手立てがとられている。</li> <li>○小単元は「考えよう」から始まり、知識の習得を自ら考え始めることによって学習がはじまるように構成されている。</li> <li>○連立方程式の解き方では、生徒の多様な考えに対して、対応できるページの記載になっている。生徒の思考から加減法、代入法などの方法を引き出す記載内容となっている。</li> <li>○「学びにプラス」では、発展的な内容について考えさせ、今までの学習に深みを出す工夫がみられる。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「仕事の中の数学」では、進路キャリアの視点があり、生徒には、数学が社会にどのように役に立ち、必要とされているかを生徒自身が実感できる内容になっており、豊富に示されている。</li> <li>○表紙裏に、「考えることの楽しさを味わおう」があり、メッセージ性を含んだ記述になっている。</li> <li>○期待値の紹介など、高校数学の一部を紹介しているものが多く、生徒の関心を高めている。</li> </ul> <p><b>&lt;数学的活動を充実させるための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○キャラクターの吹き出しがヒントとなり、間違えに気づかせていて、とてもわかりやすい。</li> <li>○「力をのぼそう」のページでは、缶の板をどうすると空き缶の体積が大きくなるかなど、数学を社会に役に立て、思考しようとするなど、数学的活動を充実させる内容となっている。</li> <li>○学習内容を例題ではなく「活動」として生徒に考えたり説明させたりすることで取り上げ、主体的かつ対話的な学びが実践できるように工夫されている。</li> <li>○全国学力・学習状況調査の問題を活用した記載がある。数学的活動を充実させる工夫がある。</li> </ul>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教科書の使い方や学習の進め方、ノートの取り方、レポートの書き方などが詳しく丁寧に、かつ、写真等を使って見やすくまとめられている。</li> <li>○取り上げた事象や題材、写真等が新しく、今までにない新鮮なものが多い。</li> <li>○各章の最後に「力をのぼそう」として、基礎から応用まで、幅広い問題が掲載されている。</li> </ul>	
表 記 表 現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○知識を身に付けたり、理解を深めたりするような学習の流れではなく、生徒自ら考え、見だし、深めていくように学習の流れが構成されている。</li> <li>○写真、イラストが効果的に活用されていて、内容に合わせて自由なページが構成されている。見やすくわかりやすい紙面になっている。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒が自ら考え、学びを進めていくコンセプトが随所に見られる。主体的で深い学びを追求した構成になっている。</li> <li>○知識を得るきっかけを教師による伝達ではなく、数学をひろげる活動として捉え、生徒に学ばせようとする工夫が見られる。</li> <li>○活用・探究の題材が多く、基礎から応用、発展、活用まで幅広く対応している。</li> <li>○学習の前に「めあて」が書かれているので、何をすればよいのか、何ができるようになればいいのかが明確になっており、生徒にとってわかりやすい活動になっている。</li> </ul>	

# 教科【数学】・種目【数学】

書名 項目	<h2>中学校数学</h2>	1 1 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">学 区</span>
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○問題数が多く掲載されており、家庭学習や反復練習に生かせるようになっている。</li> <li>○ICTを活用して視覚を通して学べるようにするために、用意されたコンテンツで閲覧ができるようにQRコードが掲載されている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○裏表紙の裏に「アイデアボード」のページがあり、話し合い活動等で使用できる。</li> <li>○小単元は「QUESTION」として、どんなことがわかるのか、気づいたことは何かなど、自分で考えたり、話し合ったりする活動からその学習が進むように工夫されている。</li> <li>○「スクラッチ」のページが設けてあり、数学科におけるプログラミング学習の充実が図られている。生徒にとっては、活動しやすい題材が紹介されている。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○表紙裏の「数学の力」の記載が生徒の興味を引く記述となっている。</li> <li>○小単元ごとに「目標」が示され、その最後に身に付けたことを振り返られるように「どんなことがわかったかな」と、この学習をもとに次の学習内容へどのようにつながるのかを示した「次の課題へ！」があり、学習の流れを意識して構成されている。</li> <li>○「役に立つ数学」では、バスのワイパーの形に平行四辺形の性質が活かされていることが紹介されている。日常生活と学習内容のつながりが実感できる記載となっている。</li> </ul> <p><b>&lt;数学的活動を充実させるための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○プログラミング学習に関わる内容が取り上げられており、状況に合わせて授業で取り上げたり、レポートなどに生かせるようになっている。</li> <li>○問題の最後には「次の課題へ！」が記されていて学習を進める見通しを持てる。</li> <li>○連立方程式の学習では、3元一次方程式の内容が紹介されており、発展的に考えられるようになっている。</li> </ul>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「QUESTION」→目標→例→問→「どんなことがわかったかな」→「次の課題へ！」という流れで教科書が構成されており、授業はもちろん、生徒の自主学習においても順を追って学習できるように構成されている。</li> <li>○数学的なコラムや発展課題、考えられる疑問などが多く取り上げられ、興味を引くように構成されている。</li> <li>○各章の最後にまとめの問題があるとともに、その中に活用する問題が取り上げられており、主体的・対話的で深い学びが意識された構成になっている。</li> </ul>	
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各ページ右端に章のタイトルが色分けして見出しになっていて、学習するページが見つけやすくなっている。</li> <li>○各章で決まった色使いで構成されている。</li> <li>○ICTの活用場面で、マークではなくQRコードを掲載し、直接コンテンツにつながるように工夫されている。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○何を学ぶか、何を身に付けたかを意識した構成で、学習の流れが明確で、授業はもちろん自主学習でも利用しやすい。</li> <li>○見方・考え方を身に付け活用していくことを意識しており、それに関連する記述が見られる。</li> <li>○「目標」に対して「どんなことがわかったか」が書かれており、目標を達成することで得られる知識が明確になっている。</li> <li>○問や章のまとめに加え、計算練習や巻末の問題など、問題数がとても多い。</li> </ul>	

# 教科【数学】・種目【数学】

書名 項目	<h2>中学数学</h2>	17 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">教 出</div>
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各章のはじめに、「〇〇を学習する前に」のページがあり、レディネスの確認ができるようになっている。また、各章の最後に「学習のまとめ」があり、基礎事項の確認と学習の振り返りができるようにっていて、学習内容の系統性や学び直しができる内容となっている。</li> <li>○図形の証明では、証明の方針を立てる際の記載があり、苦手な生徒にも学びやすくなっている。</li> <li>○巻末にある「補充問題」や「実力アップ問題」の問題量が豊富で、知識技能の定着につながる。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭に折り込みの形で、「数学的な考え方」のまとめがあり、それを開きながら教科書を活用して、適宜どの単元であっても開いて使え、「数学的な考え方」を生かせるような工夫がある。</li> <li>○キャラクターと吹き出しがとても多く、生徒の気付きを促すように工夫されている。</li> <li>○「〇〇を調べてみましょう。考えてみましょう。」との記載があり、数学的な考え方が豊富に含まれた課題であり、生徒の思考力を高める内容となっている。また、他の方法で考えることを促したり、誤答例などが充実したりしており、生徒の思考を引き出す内容となっている。間違えを「みんなに説明しよう」との問いもあり、思考力、表現力を高める発問となっている。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各章の扉（章のはじめ）に、その章の内容が日常にどのように結びついているかが示されており、生徒の興味を引き出す工夫になっている。また、「数学の広場」では、数学と日常生活のつながりが実感でき、よさを感じられる記載となっている。</li> <li>○「学びのマップ」では、今までの学習（前学年までの学習）をまとめてあったり、「数学の広場」で高校の内容を取り上げたりするなど、系統性を重視している構成が見られ、小中高を一貫して学習に取り組む意義が見い出せるように編集されている。中学校の内容をこえた発展的な課題があり、高校数学へのつながりが明確である。</li> </ul> <p><b>&lt;数学的活動を充実させるための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○半分だけめくるページがあり、数学的活動を実施する際に、そのページを引き出し、それを手がかりとして生徒が主体的に学習を進められるように工夫してある。</li> <li>○各章の最初に「Let's Try」として、その内容に関わりのある日常の題材をもとに、スムーズに学習に取り組めるようになっている。</li> <li>○「じゃんけんであいこになる確率は？」など、高校の発展的な内容を扱い、確率が日常生活に必要であり、役に立つ概念であることがわかる記載となっている。</li> <li>○課題や問題提起、内容にまつわる他教科の学習内容など、教科横断的な視点をもった記述があり、生徒に数学的な活動を促すように工夫されている。</li> </ul>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ノートの記述の仕方はもちろんのこと、学習の仕方についても詳細に記述があり、生徒の主体的な学びを引き出す工夫がされている。</li> <li>○数学的な考え方を具体的な例を交えて紹介してあり、生徒がどの考え方をを用いて学習に取り組めるか分かりやすくなっている。</li> </ul>	
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○比較的余裕を持った紙面構成で、右端に補足的な説明も添えられている。</li> <li>○キャラクターがたくさん描かれており、文字だけの説明を避け、キャラクターに発言させることで、目を引かせると共に、生徒が考える上での気付きを促すように構成されている。</li> <li>○ユニバーサルデザインへの対応がなされていて、フォントや色使いに配慮がある。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○章の最初にはレディネスと学習する目的を明確にする構成が、章の最後には定着をはかる問題と振り返りができる構成になっている。また、その内容にもキャラクターを用いて、生徒にとって学びやすいように意識して編集されている。</li> <li>○日常の問題や職業との関わりなどが充実しており、数学が活用されていること、活用していけるようにしていくことが意識されている。</li> </ul>	

## 教科【数学】・種目【数学】

書名 項目	未来へひろがる数学	61 啓林館
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本文や章末だけでなく、巻末に「力をつけよう」という教科書を縦に開いた構成で、知識を確認し、技能を習得できる問題がたくさん準備されている。</li> <li>○計算の誤答例などが記載されており、生徒がつまづきやすい箇所フォローが入っている。</li> <li>○ICTを活用して学習できるようにQRコードを載せ、理解を深める工夫をしている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○問だけでなく、「説明しよう」や「話し合おう」「まとめよう」といった表現する力を身に付ける場を設定した課題が準備されている。</li> <li>○内容に応じた数学的な見方・考え方がマークとともに1つ書かれていて、生徒が意識して学習に取り組めるように構成されている。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教科書が「みんなで学ぼう編」と「自分から学ぼう編」に分かれて構成されており、主体的に学べるように工夫されている。</li> <li>○「数学ライブラリー」があり、生徒の学習意欲を喚起する内容となっている。「学びをいかそう」では、学習内容がその先、どのように発展していくかがわかる内容である。「ミウラ折り」など日本の折り紙の技術が宇宙開発に役に立っているなど、興味深い内容となっている。</li> <li>○ICTの活用をはじめ、レポート、自主学習に使える問題など、自分で学びを深める工夫がされている。</li> </ul> <p><b>&lt;数学的活動を充実させるための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○日常に見られる数学的な事象を取り上げて問題提起するとともに、ステップを踏んで問題を設定している。説明や話し合いを通して問題解決をし、さらには問題を広げていけるように工夫されている。</li> <li>○各章で学んだことを生かして、身の回りで役立てたり深めたりできる題材が巻末にたくさん用意されている。</li> <li>○教科書の後ろには、発展的な学習の内容の記載が充実しており、学びのスピードに柔軟に対応できる書き方になっている。</li> </ul>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○構成が2部構成にされており、各学年で学ぶ学習内容とそれに合わせて数学的活動や主体的な学びに生かせるような題材が多く用意されている。</li> <li>○ICTと連携して学習が深められるように、コンテンツをたくさん準備しているとともに、QRコードを載せ、生徒が進んで学習できるように準備されている。</li> </ul>	
表 記 表 現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一貫して落ち着いた色合いで構成されている。写真とイラストがバランスよく配置され、見やすい紙面になっている。</li> <li>○QRコードが随所に印刷され、ICTの連携が意識されている。</li> <li>○学習内容に合わせて、日常との関りから問題提起したり、疑問を投げかけたりすることで進んで考えさせるように工夫されている。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「みんなで学ぼう編」「自分から学ぼう編」に分かれており、自ら学ぶ視点（主体的な学び）が重視されている構成となっている。</li> <li>○説明や話し合い、まとめといった主体的・対話的で深い学びを実践していくことを意識した構成となっている。</li> <li>○ICTとの連携が全範囲において準備されており、授業で基礎的・基本的な技能の定着と理解を深めることに生かされると共に、自主学習など主体的な学びにも対応できるように工夫されている。</li> </ul>	

## 教科【数学】・種目【数学】

書名 項目	これからの数学	104 数 研
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各章の最初に「ふりかえり」があり、既習事項との関わりやレディネスの確認ができるようになっている。</li> <li>○巻末に、問や章末問題では足りなかった問題演習を補充できるような、少し難易度をあげた問題が数多く用意されている。</li> <li>○証明のしくみとその手順のページがあり、生徒が証明のしかたを身に付けやすい記載となっている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○先生と生徒の会話・対話などのやりとりを通して、数学的な見方などの思考力や表現力の育成を図る内容となっている。全国学力・学習問題の思考・判断をみる問題などを意識した記述がみられる。</li> <li>○導入を「TRY」という、新しい内容を発見したり既習事項を活用したりするような課題を設けて、生徒の思考力、表現力を引き出す工夫がされている。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○表紙の写真が生徒の目を引く内容となっている。</li> <li>○キャラクターが出て来て説明しており、分かりやすい。</li> <li>○表紙裏に、「学びの自己評価」があり、1年間の学びを振り返り、自らチェックできる記載となっている。</li> <li>○探求ノートという別冊があり、自分で考えたり、話し合ったりして解決する探求課題や課題研究に使える日常に関わる数学的な事象を扱った課題が紹介され、主体的・対話的で深い学びが実践できるように、ワークシートも用意されている。</li> </ul> <p><b>&lt;数学的活動を充実させるための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ICTとの関連が随所にあり、QRコードも活用して、アニメーションや動画などを活用して学習を深めることができる。</li> <li>○探求ノートを用いて、話し合い活動などを通じた対話的な学びが実践できるように工夫されている。</li> </ul>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○要点を絞ることで余裕のある紙面になり、生徒にとって落ち着いて、見やすくわかりやすいページ構成になっている。</li> <li>○風景や建造物などの写真を活用し、生徒が日常の中に数学を見いだしたり、イメージしたりしやすいような工夫が多くされている。</li> <li>○日常に関わりある数学的な事象の紹介や、課題研究に活用できる題材が、巻末にまとめて扱われている。</li> <li>○「ノートのつくり方」や「レポートを書こう」が生徒に分かりやすく要点を交えながら記されている。</li> </ul>	
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○色使いが豊かで、紙面が明るく楽しく見える。</li> <li>○小單元ごとにタイトルの他に何を学ぶかが書かれており、「〇〇について学びます。」という生徒に学習を促す言葉遣いで書かれている。</li> <li>○キャラクターの会話が多く、全国学力・学習状況調査の出題傾向を意識したつくりになっている。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ICTの活用と連携が強く意識された構成で、理解を深めたり、主体的に学習に挑めたりするように工夫されている。</li> <li>○簡潔で余裕がありながら、色使いが豊かで見やすい紙面になっている。</li> <li>○課題の工夫が見られ、豊かな独創性を感じる。</li> <li>○「探求ノート」のワークシートを使用し、既習事項を活用し学びを深めていくことができる。</li> </ul>	

## 教科【数学】・種目【数学】

書名 項目	<h1>中学数学</h1>	116 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">日 文</div>
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○第1学年の冒頭に小学校の振り返りが、全学年の各章の前に「次の章を学ぶ前に」というレディネスの確認ページがある。学び直しの視点も明確化されている。また、小学校での学びを振り返る記載も充実している。</li> <li>○例題の後の問題と各章末の問題に加え、補充問題、計算の練習、さらに巻末にも問題が用意され、問題数が非常に多い。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習内容ごとに「めあて」が示され、学習の見通しを持たせている。</li> <li>○教科書の最初のページには、問題解決のサイクルについて記載があり、数学的な考え方を発揮できるような記載となっている。</li> <li>○「大切な見方・考え方」が随所に示されており、生徒がその点に着目しながら考えられるように工夫されている。</li> <li>○対話シートが巻末に用意されていること、「身近なことから」では数学化して考える流れが示されており、主体的・対話的で深い学びに対応している。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各内容で「めあて」が示されており、何を学ぶのかが明らかにされるとともに、「チャレンジ」も欄外に示されており、発展的な問題も示されている。</li> <li>○「〇〇さんが考えた図」など、生徒の興味を引き出す工夫がある。</li> <li>○「数学のたんけん」では、生徒にとって興味深い話が記載されている。また、「猛暑日が多いのはどこ？」など、生徒にとって身近な題材に工夫があり、関心を高める題材が豊富である。</li> <li>○「数学を仕事に生かす」や「暮らしと数学」など数学が社会とどのように関わっているのかがわかる読み物を掲載している。</li> </ul> <p><b>&lt;数学的活動を充実させるための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「学び合おう」というコーナーをつくり、身近なことから取り上げ、数学的な活動を促すとともに、巻末の「対話シート」を活用して話し合いを深めるような工夫がされている。</li> <li>○「数学のたんけん」のページには日常にある数学的な事象が取り上げられ、教科横断的な学習ができるように工夫されている。</li> </ul>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○デジタル教材が充実している。デジタル資料があるところがマークで記されてわかりやすくなっている。</li> <li>○日常との関りに重点が置かれ、それを数学化していく流れになっている。</li> <li>○「この本の使い方」が分かりやすく示されている。</li> <li>○各問の欄外にチャレンジ問題や補充問題が用意されている。</li> </ul>	
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1ページの文字数が少なく、図が多い。全体的に簡潔なページ構成で見やすくなっている。</li> <li>○キャラクターがそれぞれの課題についてポイントとなることから示しており、生徒の学習の援助になっている。</li> <li>○吹き出しを用いて、生徒の問題解決に関するヒントや注意点を分かりやすく表現している。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「めあて」が示され、その授業の学習内容に見通しを持てるようにしてあり、また、その次に学習する内容を「次の課題」として投げかけるなど、授業の展開に合わせた作りになっている。</li> <li>○日常の問題を数学化するところからスタートすることで生徒に興味・関心を持たせるとともに、数学の学習の必要性を示している。</li> <li>○問題数が多く、教科書だけでも学習内容の定着につなげられるようになっている。</li> <li>○節の中の項目がすべてページのはじめから始まっていて、見やすく分かりやすい。シンプルにまとめられていて使いやすい。</li> </ul>	

